

# 真菌医学研究センター Monthlyセミナー

平成29年7月25日(火) 16:00~17:00  
千葉大学真菌医学研究センター 大会議室

## 細菌毒素が引き起こす多様な宿主応答分子機構： ピロリ菌や病原性大腸菌の話題を中心に

千葉大学大学院医学研究院 病原細菌制御学

八尋 錦之助 准教授

病原細菌は宿主に感染すると感染組織に侵入したり、種々の病原因子を産生して、宿主本来の機能を障害し、発症に至らしめる。主要な病原因子である細菌毒素は、宿主受容体を介するなどして細胞内に侵入し、その特異な酵素活性により細胞内のシグナル伝達などの攪乱を引き起こし、恒常性が破綻された結果、細胞の様々な形態変化や細胞死などを誘導して発症につながる病態形成をもたらす。

細菌毒素の宿主受容体認識機構やそれに続く宿主応答機構を明らかにすることは、細菌感染症の病態発現を理解する上で重要な情報となるだけでなく、創薬の立案や新たなシグナル伝達経路の解析に資する情報とも成りうる。

本セミナーでは胃炎・胃潰瘍・胃癌の原因菌であるピロリ菌が産生する細胞空胞化毒素(Vacuolating toxin, VacA)や、最近、感染例が増加傾向にある非典型腸管出血性大腸菌が産生する小胞体ストレスを誘導する毒素(Subtilase cytotoxin, SubAB)の引き起こす宿主応答メカニズムに関する知見を紹介する。

主催：千葉大学 真菌医学研究センター

【連絡先】千葉大学 真菌医学研究センター（真菌センター支援係）

Tel: 043-226-2495 E-mail: vab5903@office.chiba-u.jp